

シスタースイーツづくり・売れるデザインの学び

“伝統の味の継承”とその先へ



山脇美代教授による
純心アップルパイ作りの
レクチャー



講義を受講して学んだことは、純心クッキーや純心アップルパイの良さを、周りに伝えていくことの大切さです。講義では純心のお菓子を初めて食べる人や作る人も多かったため、作り方だけではなく作られるようになった経緯も学び、山脇シスターが今まで大切に守ってきた味であることを知りました。また、デザインによって売り上げが変わる面白さやロゴマークの作成を通して、純心クッキーや純心アップルパイに対する周りのイメージも知ることができました。今後は純心で受け継がれてきた味を、今まで食べたことのない学生や一般の方にも伝えていくことができればと思います。

こども教育保育学科 2年
富田 紗永



作成したロゴマークについて
プレゼン

Junshin

特色ある
活動

純心の継承と開発

I・II

こども教育保育学科
教授 岩瀬 由佳
講師 塩月 悠

授業「純心の継承と開発」では、伝統を継承し、さらに商品を開発し外へアピールする方法を学びます。受講生は、シスターが作る伝統スイーツの技や、人気のあるデザインとは何かを学んだり、オリジナルグッズやロゴなどをデザインしたりします。スイーツやグッズは販売までを視野に入れて授業を展開。特に、グッズは、商品として試作品を完成させ、商品の人気や傾向を探り、今後の学びへとつなぎます。

授業から飛び出したスイーツ販売のお店の名前は…

長崎純心大学パティスリー純心
pâtisserie junshin

『長崎純心大学パティスリー純心(pâtisserie junshin)』は、「純心の継承と開発」の授業から始まった活動です。山脇シスターのご指導の下、修道院のレシピのクッキーやチェリーウインク、自分たちで開発したステンドグラスクッキーなどを製作しています。特に試行錯誤している点は、焼きムラなどの出来栄です。誰が作っても同じ出来栄になるように、作り方の情報共有が大変です。販売したことで出てきた課題もあります。いくつも課題はできますが、ひとつひとつを解決することで達成感を感じます。そして何よりも、みんなで相談しながらのお菓子作りは楽しいです。これからメンバーを増やして、スムーズに活動ができる体制を整えていきたいです。

こども教育保育学科 2年 出口 紘妃





大学オリジナルグッズ開発



高校生(オープンキャンパス参加者)向けのグッズ作成



アドバイスを受けながらデザインを考えます。
講師は「あいろデザイン」代表 江副哲哉氏。



受講生のデザインの中から、商品化する作品候補を選びました。

大学のオリジナルファイルを作りました。自分が好きなようにデザインするのではなく、グッズを通して長崎純心大学らしさを表現することや、グッズを手にする人の年齢や好みを考えながらデザインすることは難しかったです。話し合いの中で様々な人の創造的な意見を聞くことができ、とても刺激になって面白かったので受講してよかったです。

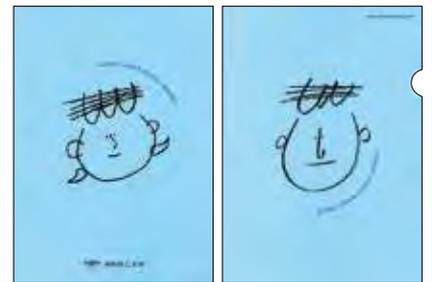
自分が考えたデザインがクリアファイルとして商品化されるという貴重な経験をしました。デザインを考える上で、長崎純心大学に親近感を持ってもらうと同時に、日常的に使ってもらえるようなデザインを考えることができました。今回の学びで、作り手としての視点で自分の身の周りの商品を見ることができるようになりました。この視点を、今後自分の視野を広げる上で役立てていきたいと思っています。

こども教育保育学科 2年
釘尾 実月



坂を上ったら、マリア様がいるというデザインです。マリア様の後光は「JUNSHIN」。スタンドグラスの坂にも「JUNSHIN」の隠れ文字があります。

地域包括支援学科 2年
岩澤 あかり



青は、長崎純心大学のスクールカラー。男性もたくさん在籍していますよ、というアピールで、表に男の子をデザイン。前髪は、学章をモチーフにして手書き風のタッチで。



純心クッキーのパッケージ缶に入れる菜の言葉は、「純心の継承と開発II」受講者が考えました。



「純心クッキー」
製作

オリジナルデザインの
パッケージ缶で、
今年販売予定です。

ネット事前予約、
数量限定で
純心アップルパイを
販売しました。



2020年11月28日・29日、
旧出津救助院にて



「純心アップルパイ」
製作・販売